



# CHAPTER 74

## フォールバック プロファイルの設定の挿入

フォールバック プロファイルの設定を Cisco Unified Communications Manager データベースに追加する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

- [名前(Name)]、[説明(Description)]、[アドバタイズされたフォールバックのE.164番号(Advertised Fallback Directory E.164 Number)]、[フォールバックのQOSの重要度レベル(Fallback QOS Sensitivity Level)]、[フォールバックのコール応答タイマー(Fallback Call Answer Timer)]、[フォールバックの電話番号パーティション(Fallback Directory Number Partition)]、[フォールバックの電話番号(Fallback Directory Number)]、[発信者IDの部分一致の桁数(Number of Digits for Caller ID Partial Match)]、[フォールバックのコールCSS(Fallback Call CSS)]のデータが含まれる CSV データファイルが必要です。
- CSV データ ファイルは、CSV 形式に変換した BAT スプレッドシートを使用して作成できます。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [Intercompany Media Engine (IME)] > [フォールバックプロファイル(Fallback Profile)] > [フォールバックプロファイルの挿入(Insert Fallback Profile)] の順に選択します。
- [フォールバックプロファイル設定の挿入(Insert Fallback Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名(File Name)] フィールドで、このバルク トランザクション用に作成した CSV データ ファイルを選択します。
- ステップ 3** [ジョブ情報(Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- デフォルトの説明は、「フォールバック プロファイルの挿入」です。
- ステップ 4** Unified フォールバック プロファイルの挿入レコードを即座に挿入するには、[今すぐ実行(Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。レコードを後で挿入するには、[後で実行(Run Later)] をクリックします。
- ステップ 5** Unified フォールバック プロファイルの挿入レコードを挿入するジョブを作成するには、[送信(Submit)] をクリックします。
- ステップ 6** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理(Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ(Job Scheduler)] オプションを使用します。
- ジョブの詳細については、[第 79 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。
- ログファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.80-3) を参照してください。

**追加情報**

「関連項目」(P.74-2) を参照してください。

**関連項目**

- 「BAT スプレッドシートをデータ収集に使用する方法」(P.1-9)
- 「フォールバック プロファイル設定用のテキストベース CSV ファイルの作成」(P.A-30)
- 「CSV データ ファイルの処理」(P.1-5)
- 「フォールバック プロファイルの設定の削除」(P.75-1)
- 「ジョブのスケジュール」(P.79-1)
- 「BAT ログ ファイル」(P.80-3)